

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年11月9日(2017.11.9)

【公開番号】特開2017-56287(P2017-56287A)

【公開日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2017-012

【出願番号】特願2016-254667(P2016-254667)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月29日(2017.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な第 1 流路と、その第 1 流路を流下した遊技球が流下しない第 2 流路と、

前記第 1 流路と前記第 2 流路とのどちらか一方に遊技球を流下させるように遊技者の操作に基づいて遊技球の発射強度を調整可能な調整手段と、

前記第 1 流路に遊技球を流下させるように遊技球を発射させる第 1 遊技状態と、前記第 2 流路に遊技球を流下させるように遊技球を発射させる第 2 遊技状態とを設定することが可能な設定手段と、を有した遊技機において、

遊技球の入球毎に回動されることで遊技球を第 1 誘導路に誘導する第 1 状態と、前記第 1 誘導路とは異なる第 2 誘導路に誘導する第 2 状態とに切り替わる切替手段と、

前記第 2 誘導路を流下した遊技球が入球可能となる特定入球手段と、

その特定入球手段に遊技球が入球したことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

前記第 2 遊技状態が前記設定手段により設定されている期間に、前記第 2 流路を流下した遊技球が入球容易となるように開放状態に可変される可変入球手段と、を有し、

前記可変入球手段が前記開放状態である期間にも前記第 2 流路を流下した遊技球により前記切替手段が回動されるように構成されているものであり、

前記遊技機は、

前記切替手段が前記第 1 状態である場合に、入球した遊技球により回動されて前記第 1 状態となることを規制する規制手段と、

前記可変入球手段を前記開放状態に可変させる特典遊技を実行可能な特典遊技実行手段と、

その特典遊技実行手段により実行される前記特典遊技の種別を決定する特典遊技種別決定手段と、を有し、

前記特典遊技の種別には、前記開放状態に可変される期間が異なる種別が少なくとも設定されているものであることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記調整手段は、遊技者が回動操作可能な操作部を有するものであることを特徴とする

請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、かかる遊技機では、遊技が単調となり遊技者が遊技に飽きてしまうという不具合があった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記のような遊技機において、遊技者が遊技に飽きてしまうという不具合を抑制することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、遊技球が流下可能な第 1 流路と、その第 1 流路を流下した遊技球が流下しない第 2 流路と、前記第 1 流路と前記第 2 流路とのどちらか一方に遊技球を流下させるように遊技者の操作に基づいて遊技球の発射強度を調整可能な調整手段と、前記第 1 流路に遊技球を流下させるように遊技球を発射させる第 1 遊技状態と、前記第 2 流路に遊技球を流下させるように遊技球を発射させる第 2 遊技状態とを設定することが可能な設定手段と、を有し、遊技球の入球毎に回動されることで遊技球を第 1 誘導路に誘導する第 1 状態と、前記第 1 誘導路とは異なる第 2 誘導路に誘導する第 2 状態とに切り替わる切替手段と、前記第 2 誘導路を流下した遊技球が入球可能となる特定入球手段と、その特定入球手段に遊技球が入球したことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、前記第 2 遊技状態が前記設定手段により設定されている期間に、前記第 2 流路を流下した遊技球が入球容易となるように開放状態に可変される可変入球手段と、を有し、前記可変入球手段が前記開放状態である期間にも前記第 2 流路を流下した遊技球により前記切替手段が回動されるように構成されているものであり、前記遊技機は、前記切替手段が前記第 1 状態である場合に、入球した遊技球により回動されて前記第 1 状態となることを規制する規制手段と、前記可変入球手段を前記開放状態に可変させる特典遊技を実行可能な特典遊技実行手段と、その特典遊技実行手段により実行される前記特典遊技の種別を決定する特典遊技種別決定手段と、を有し、前記特典遊技の種別には、前記開放状態に可変される期間が異なる種別が少なくとも設定されているものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項2記載の遊技機は、請求項1に記載の遊技機において、前記調整手段は、遊技者が回動操作可能な操作部を有するものである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項1記載の遊技機によれば、遊技球が流下可能な第1流路と、その第1流路を流下した遊技球が流下しない第2流路と、前記第1流路と前記第2流路とのどちらか一方に遊技球を流下させるように遊技者の操作に基づいて遊技球の発射強度を調整可能な調整手段と、前記第1流路に遊技球を流下させるように遊技球を発射させる第1遊技状態と、前記第2流路に遊技球を流下させるように遊技球を発射させる第2遊技状態とを設定することが可能な設定手段と、を有し、遊技球の入球毎に回動されることで遊技球を第1誘導路に誘導する第1状態と、前記第1誘導路とは異なる第2誘導路に誘導する第2状態とに切り替わる切替手段と、前記第2誘導路を流下した遊技球が入球可能となる特定入球手段と、その特定入球手段に遊技球が入球したことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、前記第2遊技状態が前記設定手段により設定されている期間に、前記第2流路を流下した遊技球が入球容易となるように開放状態に可変される可変入球手段と、を有し、前記可変入球手段が前記開放状態である期間にも前記第2流路を流下した遊技球により前記切替手段が回動されるように構成されているものであり、前記遊技機は、前記切替手段が前記第1状態である場合に、入球した遊技球により回動されて前記第1状態となることを規制する規制手段と、前記可変入球手段を前記開放状態に可変させる特典遊技を実行可能な特典遊技実行手段と、その特典遊技実行手段により実行される前記特典遊技の種別を決定する特典遊技種別決定手段と、を有し、前記特典遊技の種別には、前記開放状態に可変される期間が異なる種別が少なくとも設定されているものである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

よって、遊技者が遊技に飽きてしまう不具合を抑制できるという効果がある。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項2記載の遊技機によれば、請求項1記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、前記調整手段は、遊技者が回動操作可能な操作部を有するものである。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

よって、遊技者が容易な操作で発射強度を調整することができるという効果がある。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 7 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 7 5 3】

1 0	パチンコ機（遊技機）
6 4	振分入賞装置（ <u>切替</u> 手段）
<u>6 5</u>	<u>可変入賞装置（可変入球手段）</u>
7 1	第 1 始動口（入球 <u>口</u> ）